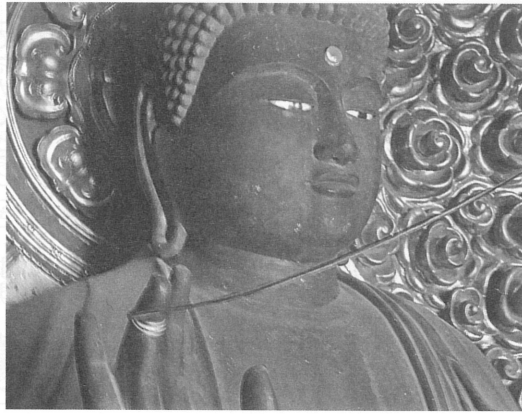


三十三年ぶりの本尊薬師如来御開帳

四月五日(土)・六日(日)、三十三年に一度行なっている朝日寺本尊の秘仏薬師如来像の御開帳が行なわれました。この一大行事がどんな風に賑わうか楽しみな反面、本当に人がお参りに来てくれるのだろうか：上手く行事は運営出来るのだろうか：という不安もありました。



不安はどこへやら、このお薬師さまにはものすごいパワーがあるのでしようか、時折雨が降る天候でしたが、二日間境内はたくさんのお参り客で賑わいました。

事前に新聞等で紹介されたことや、折込チラシの配布、インターネット上で全国御開帳マニアの情報が届いたこと。檀家内外問わず、県内の人のみならず他府県からのご参拝も多くありました。『この日のために遠くから青春18きっぷを使ってローカル線を取り組み、邑久駅から歩いて朝日寺に来た。』という人の存在には本当に驚かされました。

御詠歌隊で約四百人が参道を練り歩きました。そしてそれを見守る人々、境内の至る所で記念写真やビデオを撮影する光景が見られました。

開帳大法要として多数の僧侶の読経が響く中、ついに目の当たりにしたお薬師さまに、みなさんいろんな思いを胸にゆくり手を合わされてきました。『なんて美しい瞳だ』『何をお願いしようかな』：特に年配の方の中には『この御開帳まで生きていられるとは思っていなかった。死ぬ前にお薬師さまに会えた。生きていて本当に良かった。』などなど。

本堂では記念のお守りが配られ、その他お接待も行なわれました。境内では恒例のお接待うどんに加え、屋台も多数出店頂きました。お接待のうどんがある中で果たして有料の飲食を利用されるだろうか：という事切のお店が出るほどでした。稚児行列を終えた子供たちはお菓子のつかみ取りや、おもちゃの輪投げゲームなどに興じ、本当に賑やかでした。うどんも二日分の予定数を早々終了してしまいました。



『今日もおうどんをやる。』と下さき、急遽麺などを調達してお接待をして下さることに。雨が降っても人の流れは絶えることなく、私は『納経帳の御朱印お願いします。』と言われている走り回ったものです。正午、行事時間が終了すると本堂に総代さん婦人部の皆さんが集まり、閉扉の儀式を行ないました。貴重な時間を割いてこの行事運営を手伝って下さった皆さん。でもこの盛況ぶりにやりがいを感じられた方も多かったのではないのでしょうか。扉を閉めるときには『なんだか終わると寂しいなあ』等と言う声が多く聞かれました。

その、総代さんと婦人部の皆様へ。この一大行事遂行に当たっては、一年以上前から行事内容の議論や準備を進めて参りました。さらに言えば、機運を盛り上げるための施策や寄付金集めに至ってはこれ七年以上前に遡ります。おかげさまで無事に盛況で素晴らしい行事が出来ましたこと、厚くお礼申し上げます。何かと大変だったかもしれませんが、後々良い思い出となり、新たな人生



のページとなりましたなら幸いです。

お参り頂いた方々も、お手伝い頂いた方も、この御開帳に関わった全ての方々、どうもありがとうございました。私自身も良い経験になりました。また三十三年後に？お会いしましょう！

合掌
文・若松 慶隆

【追伸】なお、この行事を木村勝利さん(庄田)に撮影して頂いております。編集したものをDVDとして残しておりますので、欲しい方はご連絡下さい。



ご開帳によせて

八王子市 神坂 定子

満開の桜を車窓から眺めながら、岡山の思い出話に花が咲いている裡に、赤穂線の邑久駅に着きました。同行二人、主人の位牌を持つての旅です。岡山の言葉が耳にして、懐かしさで胸が一杯になりました。今回



の岡山行きは偶然にも、三十三年に一度のご開帳と、主人の二十五回忌が重なり、朝日寺様からご案内頂きました。ご開帳には一度もお詣りした事がなく、最初で最後に成るかもと、娘が同行することに成りました。

お花を買い、朝日寺に向かいました。辺りの風景は以前と変わらず、これこれ半世紀この瀬戸内海の風景や、人情の温かさに触れて、いつしか第二の故郷と思うように成りました。朝日寺様には、かねがね亡きご老師様皆様に、大変温かいおもてなしを頂いて、心の中に灯がともったような穏やかな心地に成って、家路に着いたものでした。

ご開帳は四月五日・六日との事、三日に主人の法要をしていただき、法要後は住職様の車で、御先祖様のお墓参りを済ませました。半世紀以前、錦海塩業で栄え、両親の許に帰省した折には主人が子供達を海で遊ばせた懐かしい尻海の町は、人影もなく昔の頃の佇まいがその儘に、今にも、「よう遠方からおいでなさい」と、ありし日の懐かしい方々が出迎えてくれるような気がしました。小学校も昨年閉校に成った由、半世紀を過ぎた町の変貌に、今日の本を見る様な気がしました。四日は

倉敷を散策して五日、再び朝日寺を訪ねました。

近隣から大勢の人々が集い、賑やかでした。可愛いお稚児さんに、思わず笑みがこぼれました。八十八箇所のお砂踏みしながら本堂に近付き、お堂の前では朝日寺の奥様を始め大勢の御婦人方が、御詠歌をお唱えしていらつしやいました。堂内では薬師如来坐像の前で住職様始め大勢の御坊様が読経を唱えておいででした。厳粛の中、秘仏薬師如来様を拝顔し、合掌して堂の外で檀家様にお接待に預かりました。寺門の傍らでお釈迦様に花を供え、甘茶をかけたお詣りして、お世話役の婦人にお礼を申し上げ、朝日寺を後にしました。

御住職様にはご多忙の中、法要のみならず車で尻海の案内までしていただき、心から感謝しております。誠に有難うございました。

この度はお薬師様のお導きで、ご開帳と法要とご先祖様のお墓参りが出来、日頃の念願を果たすことが出来ました。娘との二人旅も叶い大変有意義な旅と成りました。今後共、朝日寺の皆様が健康でますます繁栄していけます様、心からお祈り申し上げます。私も限られた命を大切に生きて参りたいと存じます。

合掌

